

コード	40403
作成年度	26年度

基本事業評価表

基本事業名称	うどん産業の育成
--------	----------

総合計画の位置付け	
政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保
施策名称	次世代のしまの可能性を広げる産業づくり

課コード	117	関係課名
主管課名	観光物産課	

基本事業の目的

五島手延うどん生産者が商品の品質向上の意識や技術を高め、五島手延うどんが消費者に信頼できる商品として認識されることを目的に、認定工場と認証商品の制度を確立する。また、信頼できる商品としてのブランド価値を高め、需要増を図り、新たな雇用に創出することを目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	認定工場数	成果指標名称 2	うどん出荷額
成果指標の積算根拠	認定工場数(15社)÷町内工場数(35社)	成果指標の積算根拠	うどん出荷額÷うどん出荷目標額
目標達成年度	平成26年度	目標達成年度	平成26年度
目標達成数値	35社	目標達成数値	1,650,000千円

年		度		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
成果指標 1	目標 A	単位	社	35	35	35	35	35
	実績 B		社	15	15	15	15	-
	達成率 B/A		%	42.9	42.9	42.9	42.9	
成果指標 2	目標 A	単位	千円	1,650,000	1,650,000	1,650,000	1,650,000	1,650,000
	実績 B		千円	1,060,000	1,110,000	1,033,382	1,007,180	-
	達成率 B/A		%	64.2	67.3	62.6	61.0	

1次評価	現状	事業を行なってきたことにより、全国的な知名度は上がっている。但し認証制度への認知度は低く、生産者の意識は高まったものの確立できてはいない。また、乾麺市場の縮小に加え、景気の落ち込みで五島手延うどんの売上げも苦戦している。
	課題	五島手延うどん出荷額の減少と長崎五島手延うどん振興協議会の組織力の強化が課題となっている。
	改善	認証制度の周知に力を入れ、認証商品を差別化し、ブランド力のある商品として全国に向けて販路拡大を図る。また、認証商品に貼る認証シールの販売売上金で長崎県五島手延うどん振興協議会の収益を上げ、組織力の強化を図る。

2次評価	市場の縮小、景気の落ち込みなどが影響し、ここ数年の中でうどん出荷額が最低となっている。1次評価の課題・改善事項に取り組み、経営基盤の強化、地元消費を促進するとともに、販路拡大のための人材育成、販路開拓、PR活動など今後も産地ブランドの確立に向けてうどん産業育成に努めること。
------	---

3次評価 住民等の意見	
----------------	--

町の対応	
------	--

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成25年度 直接事業費	評価の方向性
1	404030101	うどん産業育成補助事業	観光物産課	500千円	(途中) 事業内容を見直して継続
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				500千円	